

安全リスクの管理体制構築・対策の基本と、 日本航空における危機管理への取り組み

- 日 時■ 2017年 6月5日(月) 13:30~17:00
- 会 場■ 企業研究会セミナールーム(東京・麹町)
- 講 師■ NPO法人海外安全・危機管理の会 代表 長谷川 善郎 氏
(元・伊藤忠商事(株) 海外安全対策室長)
- 講 師■ 日本航空株式会社 総務部 リスクマネジメントグループ マネジャー
中原 研二 氏

◆ 開催にあたって

近年、国際テロの脅威は拡大しつつあり、グローバル化を進める日本企業においてもその脅威とは無縁ではありません。2013年のアルジェリアにおける邦人テロ事件以降、日本企業においても危機管理体制の構築が進められてきましたが、2016年7月に発生したバングラデシュにおける邦人テロ事件を機に、一層の強化が求められています。有事の際に対策が有効に働くためには、日ごろからの見直し、再強化を通じた全社的なPDCAサイクルを回すことが極めて重要です。

本セミナーでは、海外における安全リスクに対して、本社サイドとしてどのような体制構築、対策のポイントについて解説します。また、日本航空の危機管理の事例を通じて企業がどこまで備え、有事の発生時にはどのような対応を検討しておくべきかについて解説します。

《プログラムは裏面をご覧ください》

●受講料●1名(税込み、資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- 申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
- 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。
- お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込者ご出席できない場合には、代理の方のご出席をお願い申し上げます。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますことでもありますので、ご了承下さい。

一般社団法人企業研究会

担当：倉島 E-mail: kurashima@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町5-7-2 2F

TEL 03-5215-3515 FAX 03-5215-0951

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

- *当会ホームページ(<http://www.bri.or.jp>)からもお申込みいただけます。
- *FAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

171239-0305	※	2017.6.5
申込書 安全リスクの管理体制構築・対策の基本と日本航空における危機管理への取り組み		
会社名	フリガナ	
住所	〒	
ご氏名	フリガナ	所属 役職
TEL	FAX	
E-mail		

*お客様の個人情報、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

安全リスクの管理体制構築・対策の基本と、 日本航空における危機管理への取り組み

6月5日(月)

● プログラム ●

13:30

- I. 近年、海外で発生した重大事件・事故・災害等から学ぶ
教訓と企業のリスク管理体制・対策の再強化

講師：NPO法人海外安全・危機管理の会 代表 長谷川 善郎 氏

【講師紹介】1971年伊藤忠商事(株)入社、アルジェリア、エジプトに駐在、欧州・CIS室長、海外安全対策室長を経て、2010年同社退職。2010年-13年(株)オオコシセキュリティコンサルタンツ顧問。2014年NPO法人海外安全・危機管理の会代表。社外活動：日本規格協会リスクマネジメントシステム規格委員会委員(1998年2月-2000年3月)、同協会ISOリスクマネジメント規格国内ワーキング・グループ委員(2007年6月-10年3月)、日本在外企業協会海外安全部会長(2005年5月-2008年4月)。

1. 海外で発生した重大事件・事故・災害等の事例と学ぶべき教訓
2. 多くの企業で行われている海外リスク管理体制・対策の弱点と課題
3. 教訓も踏まえた再強化に向けての具体策
4. 欧米企業におけるリスク管理体制の特徴と最近の傾向

(休憩)

- II. 企業の危機管理への取り組み～日本航空株式会社の事例から～

講師：日本航空株式会社 総務部 リスクマネジメントグループ マネジャー
中原 研二 氏

【講師紹介】1980年日本航空(株)入社。福岡、成田、香港、千歳、大連、羽田、関西の各空港で、貨物、客室、旅客、オペレーション、総務などを経験し、2007年より安全推進本部部長として空港・貨物郵便・保安を担当。また同時に事故処理を中心とした危機管理対応を総括し、現在は、総務部 リスクマネジメント・グループで事故処理担当として後進の教育に当たる。

1. 危機管理体制概要説明
2. 航空会社にとっての危機管理
3. 危機対応事例
 - 1) SARS それを受けた新型インフルエンザ対応
 - 2) アイスランド火山対応
 - 3) 事故処理対応
4. 忘れないための取り組み
5. SNSの環境と航空会社

17:00